

- 問1 ある地域の地形図において、地点Eと地点Fの標高を比較する場合を考えます。地点Eは標高100mを示す太い等高線の上に位置しています。一方、地点Fはそこから等高線の間隔が非常に狭くなっている斜面を下った先にあり、標高50mの線と標高60mの線の間に位置しています。このときの地形の読み取りに関する記述として正しいものはどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)

1. 地点Eは地点Fよりも高い位置にあるが、地点Fの周辺の方が地点Eの周辺よりも傾斜が急である。

2. 地点Eと地点Fの標高の差は、等高線の本数ではなく、線の太さの違いによってのみ決定される。

3. 地点Fは等高線の間隔が狭い急斜面にあるため、地点Eよりも標高が高い。

4. 地点Eは地点Fよりも標高が低い、地点Eの周辺は地点Fの周辺よりも平坦な地形である。
- 問2 世界各地の主要な国の特徴についてまとめた記述のうち、世界で最も人口が多いとされる中国と、世界で最も面積が大きいロシアの両方に当てはまる共通点として適切なものはどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)

1. 国土のすべてが本初子午線よりも西側の西半球に位置している。

2. 世界で最も面積が大きい大陸ではなく、北アメリカ大陸に位置している。

3. オセアニアやアフリカ州の国々よりも南に位置している。

4. 北半球に位置し、ユーラシア大陸の中に領土を持っている。
- 問3 日本列島や北アメリカ大陸西側のロッキー山脈が属する造山帯の、地形的な特徴や自然環境についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2016年 高知県公立入試 類似)

1. ユーラシア大陸の南部からヨーロッパにかけて東西に伸びており、ヒマラヤ山脈などの巨大な山脈を形成している。

2. 数億年以上前に形成された後、長期間の浸食を受けたため、なだらかで低い山地が広がっている。

3. 地震の発生は極めてまれであり、地表が非常に安定しているため、鉄鉱石などの地下資源が豊富に埋蔵されている。

4. 地殻変動が現在も活発であり、火山が多く分布しているほか、標高が高く険しい山脈が連なっている。
- 問4 地球上の海域を区分した「三大洋」の一つであるインド洋について、その位置関係を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)

1. ヨーロッパ大陸、アフリカ大陸、南北アメリカ大陸に囲まれている。

2. ユーラシア大陸の東側、南北アメリカ大陸の西側に位置している。

3. 南極大陸の周囲を一周するように囲んでいる。

4. アフリカ大陸の東側、オーストラリア大陸の西側に位置している。
- 問5 緯線と経線が直角に交わる地図において、アフリカ東部の地点から見て北東から北寄りの方向に位置する「中央アジア」の地域は、アフリカ東部を中心点として距離と方位を正しく描いた地図（正距方位図法）では、中心から見て「北東」の方向に描かれます。このとき、アフリカ東部から見た中央アジアの実際の方位を16方位で表したものととして正しいものはどれですか。 (2023年 岡山県公立入試 類似)

1. 北北西

2. 北東

3. 北北東

4. 北
- 問6 兵庫県明石市などを通る日本の標準時子午線（東経135度）を、そのまま北へと延長した際に通過する国があります。その経線が通る国々のうち、世界最大の国土面積を持つ国を選びなさい。 (2021年 秋田県公立入試 類似)

1. カナダ

2. 中華人民共和国

3. インドネシア

4. ロシア連邦
- 問7 1/25,000の地形図において、標高約150mの山腹にある地点Xから、中央を流れる阿武川を横切り、標高約200mの山頂付近を経由して、標高約50mの平地にある地点Yまで移動したとします。この区間の地形の起伏を断面図として表現したときの説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)

1. 地点Xから川を渡るまで標高は一定で、川を越えた直後に急激に200mまで上昇し、地点Yまでその標高を維持する。

2. 地点Xから地点Yまで、等高線の間隔が常に一定であるため、起伏のない一定の傾斜で標高が下がり続ける。

3. 地点Xから一度標高が下がって川を渡り、その後200m付近まで標高が上がってから、地点Yに向かって標高が下がる曲線を描く。

4. 地点Xから標高が上がり続け、200mの山頂に達した後に川を渡り、そのまま地点Yの平地へと至る直線を描く。
- 問8 ある地点とその「対せき点」との関係について述べた文として、制度や仕組みの観点から正しいものはどれですか。 (2025年 兵庫県公立入試 類似)

1. 対せき点の緯度は、元の地点の緯度に90度を加算して、北緯と南緯を反転させた数値になる。

2. 2つの地点では経度が同じであるため、日の出と日の入りの時刻は年間を通じて一致する。

3. 2つの地点の間の時差は12時間であり、季節は北半球と南半球でちょうど逆になる。

4. 2つの地点を最短距離で結ぶ飛行ルートは、北極を通るルート以外には存在しない。
- 問9 メルカトル図法を用いて作られた世界地図の特徴について、面積や距離の歪みの観点から説明した文として正しいものはどれですか。 (2020年 香川県公立入試 類似)

1. 緯度に関わらず面積が正しく表現されるため、国の面積を比較する統計資料の作成に最も適している。

2. 高緯度ほど面積が拡大されるため、赤道に近い大陸に比べて、北極に近い島などが実際よりもかなり大きく描かれる。

3. 緯線と経線が平行に描かれているため、低緯度から高緯度まで地図上の1cmが示す実際の距離はどこでも一定である。

4. 図法上の任意の2点を結んだ直線は、常に地球上の最短距離である大圏航路を示している。
- 問10 地形図において、特定の二地点を結ぶ経路上の起伏や標高の変化を視覚的に捉えるために、その経路に沿って垂直に切った断面として表した図を何といいますか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)

1. ハザードマップ

2. 鳥瞰図

3. 断面図

4. 柱状図
- 問11 滋賀県彦根市の様子を描いた2万5千分の1地形図において、JR彦根駅付近の地点から彦根城本丸付近の地点までの直線距離を定規で測ったところ、3cmでした。このとき、実際の距離として正しいものはどれですか。 (2025年 岡山県公立入試 類似)

1. 1,000m

2. 7,500m

3. 500m

4. 750m
- 問12 国土地理院が発行する2万5千分の1地形図において、地表の標高を細い実線で示す「主曲線」が引かれる垂直方向の間隔として正しいものを選びなさい。 (2019年 富山県公立入試 類似)

1. 5メートル間隔

2. 10メートル間隔

3. 50メートル間隔

4. 20メートル間隔
- 問13 世界の地形を分類したとき、日本列島と北アメリカ大陸のロッキー山脈は、同じ「環太平洋造山帯」に属しています。これらの地域において、大規模な山脈が形成され、現在も火山や地震の活動が活発である主な理由は何ですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)

1. 大陸の中央部に位置しており、地下のマグマの活動が完全に停止したため。

2. 地球上で最も古い陸地であり、地層の重みによって地盤が沈み込み続けているため。

3. プレーートの境界付近に位置しており、現在も地殻変動が継続しているため。

4. 古い地質時代に形成された後、長年の侵食を受けて地表が平坦になったため。